

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第11号 平成20年 7月20日

KSC 参戦初のリーグ最下位？ その中でも竜の2盗塁刺はお見事

やっちゃった！今期最多7エラー



7月19日KSC予選リーグを長坂谷浜公園にて行った。このリーグに参戦して3年目になるが、今季は打線が大低迷の結果恐らく最下位になるだろう！残すは、プレーオフを勝ち上がり、鬱憤を晴らしたいと思う。さて、ゲーム内容に移ろう。今日は後攻、1回表相手攻撃、先頭打者を先発政司が、ストレートの四球を与えた。すかさず2盗、早くもピンチが訪れた。2番打者には、ライト前に運ばれ、ヒットと思いきや、泉のバウンド処理を誤る間に、2人で先制を挙げられてしまった。後続は三者凡退に討ち取り、1点のみで抑えたところは、さすがである。我がチームも少しずつであるが、打線が上向きになりつつあるので、今日もその打線に期待が高まる場所である。その上向きな一人、翼が内野安打で出塁、そして2盗、2番打者の間に3塁に進み、こちらも得点のチャンス、バッターは深沢、しかし、手元で変化する投球に2ストライク、結局引っ掛けた打球はピッチャーゴロ、翼が無理して本塁突入するも3本間に挟まれ、三塁タッチアウト。本人曰く「少し無理だったかもしれない」との事。続く竜が打線好調なだけに、痛い走塁であった。ゲーム決定は2回の表であった。打者14人、4つのエラー、4つの四球、そして、3本の長短打（満塁HR含む）で9点を献上し、今日のゲームは決まってしまった。しかし、そんな中でも、先制得点を挙げた那須の力を抜いたバッティング、1番の仕事を確実にこなして来ている翼（猛打賞）そして、コツコツとヒットを放つ中富、そして何と言っても我がチームの見せ場は守備にあった。1試合2回の盗塁刺を見せた、竜のキャッチング&送球は相手チームをも唸らせた。振り返れば、結果は結果で致し方ないが、今一度、自分の役割を再確認し、基本に戻り、プレーしよう。最後に、2選手の新加入により、今後の展開が楽しみである。